

放射線診断科

1 はじめに

東京労災病院放射線診断科は画像診断、核医学、放射線治療の3部門を持ち、放射線専門医修練機関として認定されています。

診療内容はX線CT、MRI検査と読影、血管造影および血管内治療（IVR：interventional Radiology）を中心におこなっています。

東京労災病院では血管内治療センターを放射線診断科に設置しています。

放射線科では各診療科と協力、連携しながら血管内治療が行われるよう、クリニカルパスを使用し、外来から退院までの検査、画像診断、治療、看護を効率的におこなっています。

2 プログラムの目的と特徴

放射線専門医一次試験（学会入会后3年目で受験資格を得る）に必要な放射線医学の知識および技術を習得します。

また、一次試験にすでに合格している場合は第2次試験（一次試験合格後2年後に受験する資格を得る）に向けて研修をおこないます。

また、IVR（interventional Radiology）指導医試験を目指す方はそれに向けた教育をおこないます。

3 研修内容

- (1) CT、MRI検査を全身の臓器を対象として行い、全ての読影を行いません。
- (2) CTではマルチスライスの造影法を修得し、放射線技師に的確な指示を行いません。
- (3) MRIでは新しい撮像法とその臨床応用を理解し、放射線技師に的確な指示を行いません。
- (4) 血管造影および血管内治療（IVR）の基本手技の修得と読影をIVR指導医のもとで行いません。
- (5) 血管内治療（IVR）におけるインフォームドコンセントと術前後の指示についてIVR指導医のもとで学びます。
- (6) 核医学検査で使用する放射線性医薬品の取り扱いや生理的動態について理解します。
- (7) 放射線治療の適応を理解し、その治療計画を学びます。
- (8) 院内CPCカンファレンスに参加し、画像所見を的確に述べられるようにします。

- (9) 日本医学放射線学会、日本血管造影・インターベンショナルラジオロジー学会、関東地方会および研究会で学術発表を行います。
- (10) 論文執筆を行い学術雑誌に投稿します。
- (11) 専門医会のセミナーとマンモグラフィー講習会に参加します。